

ネパールの子どもたちが描いた

グリーティングカード セット

希望販売価格
1100円



このカードの絵の作者は、ネパールの首都カトマンズにある「ソリサ孤児院」で暮らす子どもたちです。ソリサでは、4歳から12歳の15人の子供達が仲良く暮らしています。彼らは、親を失ったり、貧しくて十分な養育を受けられない、山奥に住んでいたため学校に通えない等様々な理由で、政府の機関を通じてソリサにやってきました。

ネパールは長年にわたるマオイストの闘争、2008年の王制から共和制への移行など、政治情勢も常に不安定で、都市部の電力や生活用水の不足、仕事不足など様々な問題を抱えています。また、貧困、家庭内暴力、家族の死去、災害等の理由で多くの子どもたちが孤児となり、彼らの多くは、「KHATE (カテ)」と呼ばれるストリートチルドレンとして、ドラッグ、児童労働、人身売買やその他の犯罪と隣り合わせの危険な生活を送るようになります。

こういう状況の中、一人でも多くの子どもたちに家庭的な生活と教育を提供するため、ソリサ孤児院は、心あるネパールの若者達によって2007年に設立されました。他の多くの孤児院のように、ソリサ孤児院にも公的な資金援助は無く、すべて運営者や世界中の友人達からの寄付で運営されています。

このグリーティングカードの利益金はソリサ孤児院の教育費として使われます。ソリサ孤児院では、子どもたちが大きくなった時にしっかりと独立した人生を歩めるように、教育やしつけをととても重視しています。皆、公立の学校に通い、学校の授業に追いつくために、毎朝晩の勉強を欠かしません。学校に通えること、字が書けること、ノートや鉛筆を持つこと、それは私たちにとっては当たり前のことですが、ソリサの子どもたちにとってはとても大きな喜びです。このカードの利益金は主に、そんな勉強熱心な彼らのために家庭教師を雇う費用となります。このセットを1つお買い上げいただくと、家庭教師一人の約1週間分のお給料が賄えます。

厳しい環境の中でも笑顔と優しい心を失わず、力強く生きている子どもたちが、のびのびと描いた絵は、見ているだけで元気が湧いてきます。ソリサとはスペイン語で「微笑み」という意味です。子どもたちの絵に少し微笑みももらって、お返しに子どもたちに家庭教師をプレゼント。そうやって微笑みの輪が国や人種を超え、少しでも大きくなるようにという思いでこのプロジェクトは始まりました。



このセットに含まれているもの



● カード3種類×各2枚

カードの中はブランクですので、シチュエーションにあわせて好きなメッセージを書き込めます。裏面には絵の作者の名前、手書きメッセージ、オマケの絵等が印刷されています。

● ネパール紙製封筒6枚 (約17.5cm×12.5cm、定形外)

封筒はネパール古来の特産品ロクタ紙で出来ています。ネパールの山に自生するロクタという植物から作られた手透き紙。独特の風合い、水に強く破れにくいので封筒にはぴったり。

プロジェクトチーム

Donna Law (カナダ在住)、**児島佐千子** (カナダ在住)、共にソリサ孤児院にて住み込みボランティア経験有り。

Ugen Thapa (ネパール在住) ソリサ孤児院運営者の一人。

お絵描き指導：ソリサのボランティアスタッフ (Deepa, Leela, Rachana, Rojina, Lindsey)

お問い合わせ

sonrisa_canada@hotmail.com ご質問、ご意見等お待ちしております。日本語でどうぞ。

ソリサ孤児院ウェブサイト：www.sonrisanepal.org